

## 授業概要

本授業では、教職の意義、教員の役割・職務内容について、社会的意義や社会的要請、法制上の規定、歴史的過程から学習する。また、教員として現代の教育問題にどのように対応するべきなのかを議論し、考察を深めていく。そのため、本授業では、教員による講義だけでなく、学生によるディスカッション・グループワークに積極的に参加し、主体的に考える意欲を高めるように講義する。

## 授業計画

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 第 1 回  | ガイダンス：教師になるために                  |
| 第 2 回  | 教師とは何か①：教員の存在意義と教職の職業的特徴        |
| 第 3 回  | 教師とは何か②：教職観の変遷と教員に求められる役割、資質・能力 |
| 第 4 回  | 教師とは何か③：教育公務員の服務・身分上の義務、身分保障    |
| 第 5 回  | 学び続ける教師①：教員養成制度                 |
| 第 6 回  | 学び続ける教師②：教員の研修制度・キャリア形成         |
| 第 7 回  | 教師の職務①：学級運営                     |
| 第 8 回  | 教師の職務②：学習指導                     |
| 第 9 回  | 教師の職務③：生徒指導                     |
| 第 10 回 | 教育に関する課題への対応①：いじめ問題             |
| 第 11 回 | 教育に関する課題への対応②：不登校               |
| 第 12 回 | 教育に関する課題への対応③：特別な配慮が必要な子ども      |
| 第 13 回 | チームとしての学校：協力・連携・教師の役割           |
| 第 14 回 | 事例から教職について考える                   |
| 第 15 回 | まとめ：教師に求められる能力とは何か              |
| 第 16 回 | 学期末課題                           |

## 到達目標

- ・学校教育における教職・教員の果たす役割・意義を理解することができる。
- ・教員の役割と職務について、法的根拠を含めて理解を深めることができる。
- ・学校が家庭・地域といかに連携して教育問題に対応するのかについて、自らの考えを述べることができる。

## 履修上の注意

- ・第 1 回のガイダンス授業の際に、授業方法・評価方法・予習・復習について詳細に説明する。成績評価に関わる内容であるため必ず出席すること。
- ・第 1 回目の授業に出席できない特別な理由がある場合（あった場合）には申し出て、配布資料を必ず受け取ること。

## 予習・復習

- ・予習として、予め配布する資料に目を通しておくこと。
- ・また、資料と授業の内容を併せて復習し、参考文献なども用いて理解を深めること。

## 評価方法

- ・授業での取り組み（40%）と学期末課題（60%）によって行う。
- ・授業での取り組みについては、授業で課すコメントペーパー・レポートの提出状況および評価、授業態度なども考慮する。なお、評価方法の詳細は、第 1 回のガイダンス授業で説明する。

## テキスト

毎回、授業資料を配付する。授業内容についての参考文献は、授業資料で示すので、それを参考にしてもらいたい。